

STOP 戦争法発動

陸自にオスプレイ 17 機導入

2016年12月の沖縄でのオスプレイ墜落事故は、米特殊作戦航空軍の最新型空中給油機が空中で夜間、オスプレイに給油しているときに起きました。この夜間空中給油訓練は「長距離の飛行場の奪取作戦」のため必要と米軍資料には明記されています。

つまり、海兵隊のオスプレイが夜間に空母などから飛び立ち、遠く離れた敵国の飛行場を奪取するという訓練なのです。オスプレイが低空飛行訓練を重視しているのは、このような敵国への侵入・脱出を成功させるためです。

安倍政権は陸上自衛隊へのオスプレイ 17 機（1842 億円）の導入を決め、佐賀空港への配備をすすめています。安保法制の下、オスプレイを使った日米共同演習もすすめられています。

自衛隊も海外へ侵略しようというのでしょうか。

◆カビ対策の基本

梅雨に入ると、高温多湿になり、カビが生えやすくなります。温度 20～30℃、湿度 70%以上はカビにとって最も良好な環境だといわれています。カビはアレルギー症状を引き起こすこともあるので、できるだけ発生を防止しましょう。

最も簡単で有効なカビ予防法は、水分を断ち湿度を下げること。つまり水分をふき取り、風通しをよくすることです。

浴室や洗面所、台所の流しなどでは、使い終わったら、たまっている水をふき取りましょう。特に浴室は排水溝や隅など、換気扇だけでは乾きにくいので必ずふき取ります。

晴れた日には、部屋の隅々まで風が通り抜けるよう窓を開けましょう。対角線上に 2 カ所以上開けるか、扇風機や換気扇を利用して風の通り道をつくります。流し下、押入れ、クローゼット、下駄箱なども開けて風を行きわたらせましょう。

しかし、気を付けていても浴室はカビが生えてしまうこともあります。そんなときは 50℃の湯を 5 秒、頑固なカビなら 1 分半程度かけるとカビは死滅します。

脅威あおって9条改憲か

海上自衛隊の護衛艦「いずも」が5月1日、横須賀港を出港し、戦争法に基づく初の「米艦防護」を実施、米海軍弾薬補給船の防護にあたった。

米韓の大規模軍事演習に対抗し、北朝鮮の軍事的挑発が続くという「緊張」の高止まり状態の最中、日本が「米艦防護」命令を下したことは、軍事対軍事の危険性をさらにエスカレートさせる行為だ。また万が一、トランプ政権が北朝鮮に対して軍事攻撃に踏み切れば、自衛艦が「防護」の名の下に武器使用を行い、日本は自動的に参戦することとなる。

今回の防護は房総半島から四国沖までで、北朝鮮からの攻撃の可能性は極めて低いと考えられる。さらに「いずも」自身、ヘリ空母としての潜水艦の掃海能力は高いものの、防空防護の能力はないに等しい艦船であり、シンガポールでの国際観艦式参加の道すがら、実施命令をだし、既成事実の第一歩目としたとみることができる。

この間、自衛隊の艦船は米原子力空母カール・ビンソン等との異例といえる演習を繰り返してきた。政府は北朝鮮の脅威を国民にあおるだけあおって、既成事実の積み上げで「日米の軍事一体化」を誇張、一気に9条改憲を推し進めようと思論んでいる。

だが、こんな時こそ日本は憲法9条をしっかりと掲げ、平和的な外交交渉による解決を進めるべきだと思う。

飯田光徳 社会福祉法人「野の花福祉会」

